
名探偵コナン デバ地下の秘密

成瀬衣幌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名探偵コナン デパ地下の秘密

【Nコード】

N1795E

【作者名】

成瀬衣幌

【あらすじ】

東都デパートが爆破されるといふ脅迫状を見たコナン。彼はいったいどうするのか。

第一話

デパ地下の秘密

ACT 1

2008年4月13日 午前11時23分 東都デパート米花店

「ねえねえ、今日は何を買うの、蘭ねーちゃん。」

「うーん、そうねえ、この前の事件の解決お祝いの豪華な食事の材料と、

今度行く予定の千葉県・海浜リゾート用のお洋服とかかな。」

「じゃあさ、ぼく、本屋さんに行ってきたいい？ちよつと見てみた本があるんだ。」

「いいわよ。でも、迷子にならないでね。」

「うん。わーい、やったあ！」

（これで調査ができる！）

「じゃあ、東都書店の前で3時30分に待ち合わせね。」

「うん、わかった。じゃ、じゃーねー」

さて、コナンが言った調査とはなんなのか。

実は、こういうわけがあったのだ。

午前4時22分 コナンの部屋

「トゥルルルルル、トゥルルルルル」

「ガチャ」

「うーん、誰だよ、こんな時間に。」

「新一くん、大変じゃ、今すぐ研究所にきてくれ！」

「博士！！何があったんだ？、おーい、博士！」

「ツー、ツー、ツー」

「くそっ！」

（とにかく、行ってみるしかないな、博士の家に。）

コナンはパジャマからいつもの衣装に着替え、まだ暗い夜道を博士の家に向かって走り出した…

「おい博士！」

「おお、新一君。実はのう…こんなのが届いたんじゃ。」

『工藤 新一様へ』

「はあ？俺宛かい！」

中を見ると、こんなのが書かれていた。

『明日、米花市にある東都デパート米花店のデパ地下（地下一階）を爆破する。言っておくが、これは本当の話だ。』

ふふふふ
府不負腑より『

「…どんな話だ！それに、何だよこの『ふふふふ』なんてふざけた名前！」

「

「そうなんじゃが、東都デパートにも脅迫状が2通届いておってな。軽視できないんじゃ。」

「ふうーん、まあ、明日調査でも行つて来るか。」

「うん、そうしてくれ。じゃあ11時30分に東都書店で待ち合わせせじ

や。」

「ああ、それじゃ、じゃあな。」

第二話

11時30分

東都書店前

「おう、博士！」

「おお、よく来たな、しん…コナン君」

「じゃあ、スタッフルームに行くぞ」

「脅迫状を見せてもらうんだな」

1階：スタッフルーム

「ほれ、この子が名探偵の江戸川コナン君じゃ」

「ほう、この子があの…あ、私の名前をまだ言ってますでしたね。

用田 彰人ちゅうだあきひとといいます」

「では、用田さん、お聞きします。いつごろ、脅迫状が届きましたか」

「えーと、2月29日、でした」

「じゃあ、脅迫状、見せてもらえませんか」

「は、はい、ちょっとお待ちを」

「あ、これです」

「ほー、なるほど」

文面：拝啓。突然だが、我々はテロリスト組織・府不負腑ふふふふだ。今回、東都デパートを爆破する。もし、止めてほしければ、2億円を指定の銀行口座に払うこと。指定の銀行口座は下のページからチェックできる。

<http://fufufufu.ac.jp/ginkou.kouza.html/> 敬具 府不負腑より。

「二億円、ですか…。これは用意できますかね、用田さん」

「ちよっとキツイですね…不景気もありますし、東都デパートはかの東急百貨店などの大手百貨店ほど知名度ありませんし、売り上げも…」

たしかに、東都デパートは一店舗しかないし、売り場面積も他のデパートの3分の2くらいしかない。

しかし、コナンは別のことを考えていた。a c . j p … つか。たしか学校法人、しかも18歳以上を対象とした学校専用ドメインだ。府不負腑が、学校法人とは到底思えない。が、一応G o o g l e で調べてみた。すると…

最終話（前書き）

何となく難しい部分もあるかも？

最終話

http://www.fufufufu.ac.jp/でググッてみたら、あつたのだ。「ふふふふ大学」が。

どんな大学かは知らないが、極東アジア

の「チョン・ガリーネ王国」の大学の日本支部らしい。ただ、その日本支部はどうやら廃校し、ドメインの期限が切れる直前を狙って犯人たちが「更新」をしたらしい。

もちろんWebサイトには「ふふふふ大学」のことは一切書かれていない。

ちなみに、ふふふふとはガリーネ語で「地球上でもっとも幸せな金持ちになるう!」という意味で、fedfuqx4と書く。らしい。x4は、「かけるよん」と言う意味。

ガリーネ語は奥が深く、日本にも少なからず愛好者がいるらしい。と、そんなことはどうでもいい。http://www.fufufufu.ac.jp/にアクセスするまでだ。

Sleepnir(IEコンポーネントブラウザの一種)のアドレスバーにアドレスを打ち込む。

すると、404が現れる。しかし、ginkou-kouza.htmlがあるのだから、index.htmlがあるはずだ。普通のサーバはindexページをアップしないとダメだし。俺が見たところでは。

でも自分たちのサーバかもしれないな。

と思ったとき、俺はひとつの可能性に思い当たった。

”このページは、404 File Not Foundのページをメジャーなほとんどのブラウザでアクセスし、「Printscreen」等でスクリーンショットを撮影し、その画像を貼り付けているのではないか?

そしてブラウザごとにJavaScriptやCSSハックで画像

を変えているのだろう”

俺はその推理を確かめるために、右クリックしようとする。が、出来ない。JavaScriptで制限しているのか！JavaScriptを切る。これで右クリックが出来るようになった。ページのソースを表示させる。そこには、CSSへのリンクがあった。パスをアドレスバーに入力し、アクセス。

ああ、やはり。CSSハックだったようだ。

まあ、いいや、ginkou-kouza.htmlにアクセスしよう。と思ったとき。

最下部から2番目の行。「ブービー行」といったところか。そこに「イタズラだよん by 怪盗キッド」と書かれてあった。なっ・・・確かにこんな手のかかるイタズラをするのはあいつぐらいであろうが、いつもとは何かが違う。何だろうか。

そう疑問に感じながら、俺は報告しに博士の家に向かった。

End.

最終話（後書き）

今までありがとうございました。

更新もできずにすいません。

何かつまらないクソ小説となってしまうましたが、読んでくれたかた、有難うございました。

by MEITO

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1795e/>

名探偵コナン デパ地下の秘密

2010年10月11日02時02分発行